〈目　次〉

はじめに

序章　横浜と近代日本のキリスト教……岡部一興　7

Ⅰ　J・C・ヘボン――施療・辞書編纂・聖書翻訳……佐々木晃　17
宣教医として来日／神奈川・成仏寺／居留地で「ヘボン塾」を開く／『和英語林集成』の編纂／旧・新約聖書の翻訳／指路教会／明治学院／離日／もう一束の手紙

Ⅱ　S・R・ブラウン――日中伝道の使者……小林功芳　41
マンソン・アカデミーに学ぶ／マカオのモリソン記念学校校長／来日と『日英会話篇』の出版／修文館の教師に／聖書翻訳を完了して帰国

Ⅲ　J・H・バラ――日本基督公会の創設者……中島耕二　63

改心と宣教師志願／日本伝道を希望／結婚、そして日本へ／日本人最初のプロテスタント信者に授洗／横浜英学所とヘボン塾／日本基督公会の創立／地方への開拓伝道

Ⅳ N・ブラウン――最初に新約聖書を翻訳……川島第二郎 85
翻訳委員会訳に先駆けて聖書を出版／外国宣教師の道へ／アッサムでの伝道活動／米国における三つの活動／六十五歳で来日／翻訳委員会とN・ブラウン／平易な文語文を土台に翻訳

Ⅴ A・A・ベンネット――横浜バプテスト神学校を創設……高野 進 107
「彼は仕えるために生きた」／外国宣教師になる決心／横浜バプテスト神学校校長に／社会的活動／生涯しもべとして生きる／讃美歌に歌われたベンネット

Ⅵ M・E・キダー――フェリス女学院を創設……小檜山ルイ 125
最初の独身女性宣教師／生い立ちと教育／自活する独身女性／十九世紀のアメリカ社会／女子教育事業の特徴

Ⅶ M・P・ブライン、L・H・ピアソン、J・N・クロスビー
――横浜共立学園の創立者……安部純子
米国婦人一致伝道協会／ブラインの奉仕活動とバラとの出会い／アメリカン・ミッション・ホーム設立／偕成伝道女学校・初代校長ピアソン／第二代総理クロスビー 147

Ⅷ C・A・カンヴァース――捜真女学校の基礎を築く……小玉敏子
N・ブラウン夫人の跡を継ぐ／教師から宣教師へ／来日し、第二代校長に／校名を「捜真女学校」へ／幼年科廃止と神奈川移転／残された「捜真」の名前 169

Ⅸ O・ハジス――横浜英和女学校第八代校長……森山みね子
創立者H・G・ブリテン／日本宣教を志すまで／二十七歳で校長に／蒔田の丘に校舎を移転／敵国の市民として／日本へ戻り、名誉学園長に 189

あとがき